

2017年2月16日

報道関係各位

一般社団法人日本能率協会
ドイツメッセ日本代表部

【開催報告】絨毯・カーペット・フロアカバリングに関する専門展示会

「DOMOTEX 2017（ドモテックス）」

＜2017年1月14～17日、ドイツ・ハノーバー＞

世界60カ国・地域から1,409社が出展

DOMOTEX

絨毯・カーペット・フロアカバリングに関するB to B向けの専門展示会「DOMOTEX 2017（ドモテックス）」は、2017年1月14日（土）～17日（火）まで、ドイツ・ハノーバーで開催されました。（主催：ドイツメッセ株式会社、ドイツ・ハノーバー）

世界60カ国・地域から1,409社が出展するなど、盛況の後に閉幕しました。

【開催速報】 ※1/17速報値

名称：DOMOTEX 2017（ドモテックス／国際絨毯・カーペット・フロアカバリング見本市）

会期：2017年1月14日（土）～17日（火）各日9:00-18:00

会場：ドイツ・ハノーバー国際見本市会場

出展企業数：60カ国・地域から1,409社

注目の企画：「Young Designer Trendtable」＜新企画＞

- 欧州5カ国の有望なデザイナーが
将来のフロアリングのビジョンを提案

「Innovations@DOMOTEX」

- 「今年最高のイノベーション」製品を展示



＜トピックス＞

※本稿は、2017年1月17日にドイツメッセ株式会社が発行したプレスリリースをもとに構成しています。

ドイツメッセ社プレスリリース（公式サイト <http://www.domotex.de> に掲載）

(http://www.domotex.de/en/register-plan/for-journalists/press-releases/pressreleases-deutsche-messe/pressemitteilung-details_13760.xhtml)

——世界の床材業界に新たな風を

DOMOTEX 2017では、60カ国以上から計1,409の出展企業がハノーバー国際見本市会場で世界の観衆に向け最新のイノベーションを展示。床材業界の革新的精神と高い実行能力を見事なほどに浮き彫りにしました。

DOMOTEXは国際ビジネスに力を入れている企業やデザイナーにとって、外せない場所になっています。単なる商品展示・商談する場であるばかりでなく、これからのトレンドを映し出すインスピレーションの鏡としての役割も果たしています。

——業界に影響を持つプロが多数来場

DOMOTEX2017には、専門家と意思決定者の来場割合が91%に達するなど、業界に影響を持つプロが多数来場しました。特に寄木張り、その他フロアリングの専門職の参加は15～20%増加し、それに伴って卸売専門業者の来場数も増加しました。展示会来場者の約90%は購入の固い意志を持って訪れた意思決定者でした。最新情報を求めるインテリアデザイナー、クリエイターらの興味も引きました。

——2017年フロアリングの傾向は？

最近の傾向は、持続可能性と自然な風合いの素材に大きな重点が置かれていることです。環境にやさしいデザイナー商品やラミネート、一見自然に見えて本物の木とほとんど区別がつかないような表面のデザイナーフロアリングなどに高い需要があります。木のフロアリングに関しては、「ユーズド感」のあるものや木目の模様、仕上げが人気で、出来上がった商品は無尽蔵の色、形、型で顧客を楽しませます。ヘリンボーン模様も再び流行しています。タイルや板張りの床も引き続き人気を得ています。色については、落ち着いた砂や石の色合いの床張り、鮮やかな色や洗練された模様も人気です。革新的な床張りシステムが、簡単で順応性があり、環境にもやさしい施工法として商機を創出しています。

——Innovations@DOMOTEX 再び注目の的

今年のイベントの見所は、6、9、17番ホールにある人気の Innovations@DOMOTEX エリアでした。そこでは、テキスタイルや弾力性のある床材、寄木張り、ラミネートフロアリング、現代の手作りラグマットなどの優れた新しい商品や新鮮なアプローチの数々が中央ステージで披露されました。この特別展示会場は、来場者にとってインスピレーションとオリエンテーションの価値ある源泉であり、最新の商品とトレンドすべてを発見する簡単な方法を機会となっています。

Innovations@DOMOTEX 内で行われたトークイベントでは、アルフレッド・ハベリ、ビューロー・キャラメル（ウーン）のデザイナー、ザウアーブルッフ・ハットン（ベルリン）、ピーター・ハイマール、アルヒテクトゥーア（ミュンヘン）、プレイジャー&フランツスタジオ（ベルリン）など、業界でも名だたる有名人が登場。豊富な議論、講演、特別ツアーの中で、専門家たちは「人によりやさしい」リビング空間のデザイン方法、将来のフロアリング需要に応える方法や、サービス提供者にとって最善の環境は何か、などのテーマについて考え、また、空間を最大限利用することでインテリアデザインの新しい基準を設定する方法も検討しました。

——これからの床材どうなる？

新企画「Young Designer Trendtable」では、ヨーロッパ5カ国の有望なデザイナーに将来のフロアリングに対するビジョンをつくり、プレゼンテーションを行いました。伝統技術が現代の製造プロセスに貢献すること、大理石や石が普通とは違う方法で使用できること、硬さの違う材料を組み合わせると素晴らしい効果が得られること、一時的に使用された部屋が新しい見方でアプローチできることなどが紹介されました。

——次回、DOMOTEX 2018

DOMOTEX は、2018年大きく変わります。レイアウトや商品のカテゴリーも刷新されます。DOMOTEX 2018の基本テーマは、個性化への大きな流れを考慮した「Unique Youiverse」。

また、以前は土曜から火曜までの会期でしたが、2018年より、DOMOTEXは金曜から月曜までの会期となります。

以上

次回 DOMOTEX 2018（ドモテックス）

会期：2018年1月12日（金）～15日（月）

※開催曜日が土～火から、金～月が変わります。

会場：ドイツ・ハノーバー国際見本市会場

【本件に関するお問い合わせ】 一般社団法人日本能率協会 ドイツメッセ日本代表部

担当：竹生（たけお）、大津（おおつ）

〒100-0003 東京都千代田区大手町1-2-2 住友商事竹橋ビル14階

TEL：03-3434-6447 / FAX：03-3434-8076 / E-Mail: DMS@jma.or.jp

※取材のお問い合わせは、広報室（TEL：03-3434-8620、担当：斎藤）へお願いいたします